

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	たけのこクラブ清水		
○保護者評価実施期間	令和8年2月20日		令和8年3月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	令和8年2月20日		令和8年3月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の定着率が高く、ベテラン職員の配置数を多くすることができ、児童それぞれの特性にあわせた、きめ細やかな個別支援を提供しています。	中高生者の利用児童が多い当施設の中で、思春期特有の悩み・進学やアルバイト・就職などの相談を個別で、様々な年代のスタッフが対応をする事で支援に繋がっています。個室なども完備して相談しやすい環境を作っています。	スタッフの定着、また質の向上を行うための会議や研修を充実して行うため、グループ全体でのスタッフ勉強会の実施など様々な取り組みを行っています。スタッフも一緒に成長できる施設を目指します。
2	活動プログラムが固定化されないように工夫しています。当施設では特に公共交通機関の移動支援、職業体験、PCを使った様々なプログラム(タイピング・オフィス・AIでの編集等)に取り組んでいます。	年間、季節、月間イベントをグループ全体で検討し、各スタッフが様々な意見を出し合う事で児童たちの楽しみや療育に繋がるプログラムを作成しています。中高生者のみのイベントやプログラムも充実しています。	施設が提示するプログラムだけを児童に取り組むのではなく、保護者様、児童・スタッフからも意見や要望を聞き取り様々な視点から、将来を見据えたプログラムを今後も継続して取り組みます。
3	定期的に外部の専門家を招き、より専門性のある知見からアドバイスを行う、療育会や保護者を含めた家族への支援・学校・地域の発達センターや主治医面談など医療機関との連携も行っています。	保護者同士の連携を高めるために、どんたく参加・OB会・スポごみ選手権など、保護者様も参加できるイベントを実施しています。まだ、浸透していないので積極的に周知していきます。	療育会での内容や取り組みをケーススタディとする等、職員の成長やスキルアップにつなげる研修や勉強会、関係機関で得た情報を職員で共有して取り組みの幅を広げています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ない (地域のこどもや住民との交流の機会が少ない)	地域のゴミ拾いなどを実施していたが、地域のイベントには積極的に参加していなかった。	様々なイベントの企画、地域の商店なども活用して、地域の方と交流できる機会を作っていく。
2	定期的な通信やHP・SNSで活動予定や活動内容等を保護者様に発信できていなかった。	毎月のスケジュール表は配布していましたが、HPでの更新等情報は積極的に周知していなかった。そのため知らないという保護者様が多かった。	HPを更新した際は、連絡帳やスケジュール表などに情報を明記していきたい。
3	父母の会や保護者同士の交流の場が少ない。もしくは知らない。	現在、様々な保護者様を交えた交流イベントを企画しているが、イベントの数が少ない事や周知が出来ていない事がある。	去年は、どんたく参加以外にも、OB会やスポごみイベントなど少しずつ保護者様が参加できるイベントを増やしている。今後も検討して増やしていきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	たけのこクラブ清水
------	-----------

公表日 令和8年3月31日

利用児童数 38名 配布世帯数19部

回収数 14部

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	86%	7%		7%	高学年の児童は身体が大きいので人数が多いとせまいと言っていた。	児童が多い時は戸外活動等、活動を分けて、落ち着いた活動ができるよう対応しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	93%			7%	適正だと思う。	スタッフの量だけではなく、質も向上するため、研修等を強化いたします。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%				分かりやすいように、明記されていた。	バリアフリーに関しては、状況に応じて配慮の検討をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	93%			7%	きれいだった。	児童が楽しく、清潔に過ごせる環境をこれからも提供していきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%				計画書や日誌に分かりやすく支援の内容が書かれている。	各児童の特性を理解しつつ、悩み・相談をしっかりと聞き、その児童にあった支援を行います。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	93%			7%	確認することがない。	HP等に掲載されているので、保護者様にわかるように周知していきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%				伝えた事や現在の状況を踏まえた上で、計画書を作成してくれている。	今後も、児童の特性および保護者様のニーズに応じた、計画書を作成していきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%				計画書に分かりやすく明記してくれている・どういった内容で支援しているのかがわかりやすい。	今後も、ガイドラインに沿った計画書の作成を行いつつ、分かりやすく、具体的な支援内容を設定して支援を実行していきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%				評価も分かりやすい。	計画に沿った支援を今後も継続して行っていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%				色々なイベントやプログラムがあり、特に昼食作りに参加したいとのこと	様々な工夫を凝らして、マンネリ化しないように今後も作成していきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	65%	7%		28%	公園にきている地域の子どもたちと野球や鬼ごっこで遊んだというのはよく聞く。	積極的に交流を行っていないので、今後検討いたします。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%				あった。	今後も分かりやすく丁寧にご説明をさせていただきます。	

保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%				面談などで分かりやすく説明していただいた。	担当者会議、モニタリング時以外でも必要に応じ、丁寧に説明をいたします。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	71%	21%		8%	月1回ある療育会に参加した。勉強になった。	毎月1回、保護者様を交え療育会を実施しています。参加して頂けるよう周知していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができてきていると思いますか。	93%	7%			連絡帳でこまめに記載されている。重要な事は、送りの時や電話で報告がある。	日頃から情報共有を行い、状況に応じて迅速にご連絡を行います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%				定期的に面談があり、色々な提案をいただき、参考になっている。	半年に1回のモニタリング以外でも臨機応変に支援をさせていただきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	93%	7%			共感していただけている。	児童、保護者様のお気持ちに出来る限り寄り添う支援を今後も努めていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	35%	22%	8%	35%	わからない。	今年は、どんたく以外でもOB会やスポごみなど父母が参加できるイベントを行いました。今後も増やしていきたい次第です。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	93%			7%	色々な相談を聞いてくれ、情報や提案をいただいた。	相談があれば、迅速に対応を行います。また、様々な相談に対応できるよう、常に情報収集を心がけ、適切な対応ができるよう努めます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%				主に、連絡帳などに書いてくださいます。	今後も、報連相の徹底を行います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	58%	7%	7%	28%	見た事あります。	HPの更新など、何か変更がありましたら周知していきます。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	93%			7%		鍵つきの書庫に保管を行っています。スタッフ教育も含め漏洩がないよう徹底いたします。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	93%			7%	スケジュール表で実施している事はわかる。連絡帳に行ったら報告はあった。	事業所で定めた安全計画に基づいて、訓練を実施してまいります。また、保護者様にも周知できるよう取り組みます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	86%	7%		7%	スケジュール表にいつ行う予定だと報告はうけている。こどもから今日は避難訓練を行ったと聞いた。	火災、地震、水害を想定してスタッフ、児童と避難訓練を実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	86%			14%	こどもの安全について取り組みを行っている事はわかる。	児童が安全に過ごせる環境で支援を行っています。周知に関しても徹底してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	78%			22%	・事故ではないが体調不良の場合など、すぐに連絡がきて対応してくれている。事故がないので分からない。	事故がないよう、児童の安全に注意して支援に取り組みます。小さなケガでも必ず説明をさせていただきます。

満足度	27	ごどもは安心感をもって通所していますか。	100%			はい	安心して過ごせるよう、今後もスタッフ一同努力いたします。
	28	ごどもは通所を楽しみにしていますか。	100%			好きな先生や友達が利用日にいるか、気にしている。非常に楽しみにしている。	楽しい時間を過ごせるよう、今後も考えたプログラムを作り、支援に繋げていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%			日曜日も利用できるのはありがたい。・非常に助かっています。	今後も、満足して頂けるよう社員・スタッフで支援を行っていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		たけのこクラブ清水				公表日	令和8年3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		高学年児童が多いので、利用人数の多い時は戸外活動など、活動を分けて対応しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		利用者への支援を十分対応できるように意識した配置を行っています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		イメージカラーも含め、施設は統一感を出して視覚的にも分かりやすい環境作りに取り組んでいます。	バリアフリー化に関して、利用児童が必要な場合は検討します。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		毎日の掃除、換気、消毒を行い児童たちが快適に過ごせ、活動に合わせた空間作りに取り組んでいます。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		勉強部屋、中高生部屋などの個室空間を用意して、特性に配慮して提供出来る環境になっています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		毎月のスタッフ会議と日々の振り返りを行い、出勤日数の少ない非常勤スタッフにも周知しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		評価表だけではなく、モニタリングや担当者会議、日々のご意見を伺い、改善が必要なご指摘に関しては迅速に取り組んでいます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		毎月のスタッフ会議でスタッフから様々な意見を取り入れ改善につなげています。意見が言いやすい環境作りに取り組んでいます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	78%	22%	臨床心理士の講師を毎月1回招き、療育会を実施。それ以外でも施設やスタッフに対して評価やアドバイスを頂いています。	一部のスタッフに評価結果を周知できていない事があるので徹底していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	89%	11%	毎月3回以上の会議を行い、社員・スタッフの質の向上に努めると同時に様々な外部研修にも参加しています。	外部研修の内容を、受けていない社員やスタッフにも、周知徹底いたします。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		支援プログラムを施設入口に提示。また、HPにも公開しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		毎月のスタッフ会議で児童の特性や目標を考慮して、ニーズの分析を行い計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		スタッフ会議だけではなく、日々の引継ぎや話し合いの中で児童の様子について情報共有を行い、必要な支援を検討しています。		

14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		保護者様に同意を頂いた計画書を用いて、スタッフ会議、支援ノート等で個別支援計画の共有を行い、計画に沿った支援を行っています。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		児童の状況を把握できるよう、標準化されたアセスメント表を用いて活用しています。	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		個別支援計画の作成に際して、ガイドラインを確認し必要な項目を設定し支援につなげています。また、スタッフ会議で5領域について説明を行い共通認識を図りました。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		スタッフ会議、日々の打合せの中でプログラム作成を行い、実行したプログラムの振り返りも行っています。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		プログラムがマンネリ化しないよう常に様々な意見を収集しています。意見を反映して固定化しないよう努めています。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		児童の特性の状況に応じた活動を組み合わせ計画を作成しています。また児童の特性や状況に応じ、支援を調整しています。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		その日の児童受け入れ前に必ず打ち合わせを行い、支援内容と各スタッフの役割を確認して支援を行っています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		共有ができない日は施設ライン、連絡帳を通じてその振り返りや改善点を全スタッフに通知して共有しています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		各児童の療育日誌を作成して個別ファイルにまとめています。記録を日々取る事で次の支援や改善に繋がっています。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		6か月ごとのモニタリングを行い、計画の見直しを行っています。必要に応じて6か月以内でも見直しを行う場合もあります。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	100%		ガイドラインの基本に沿って支援を行いつつ、児童に特性に応じ組み合わせています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		イベントやプログラムを通じ、自己選択できる場面の提供を活動時に行っています。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		主に児童発達支援管理責任者が参加しています。そのためのシフト調整も行っています。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		学校、病院、児相など、必要に応じてケース会議を開き、また参加して情報共有を行い、支援に繋がっています。	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		各学校の行事予定を把握し、時間割など通じて下校時間の確認を行っています。学校からの連絡会には必ず参加しています。	

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%		アセスメントの確認を行い、利用前に担当者会議を実施、情報共有できるように対応しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%		利用する事業所から情報を求められた場合は、保護者様の許可の上、提出を行います。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	78%	22%	必要な児童に応じて、連携を図り助言や研修を受けるようにしています。	助言・研修内容を、受けていない社員やスタッフにも、周知徹底いたします。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%		公園での活動やボランティア活動で地域の児童たちと交流を図り一緒に活動を行っています。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	78%	22%	開催にあわせて出席をしています。	一部のスタッフに内容の周知ができていないのでスタッフ会議等を通じ改善していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		連絡帳や送迎時に、その日の様子や支援の内容を丁寧に伝え情報の共有と理解の統一を図っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		毎月1回外部の講師を招き、療育会の開催を行っています。またOB会など父母参加のイベントに機会を設けています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		運営規定は入口に提示。支援プログラムは入口に提示及び、HPにも公開しています。負担について契約時に説明をしています。	負担金額については更新時の会議も含め変更があった場合、速やかに説明をしています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		モニタリングや日々の会話の中で本人、保護者様の要望を確認し、個別支援計画に記載しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		モニタリング時に支援内容の確認・説明を行い、計画書の作成後も改めて説明を行い同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		相談があった際には、内容の聞き取りを行い適切な、情報提供や助言を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%		OB会やスボごみ、どんたくなど家族参加イベントを増やし、イベントを通じ家族間での交流が図れる場を設けています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		苦情・相談対応マニュアル及び、苦情解決責任者を選定して、迅速かつ適切に対応を行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		毎月の行事予定を配布し、随時HPに行事の様子などを発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		全スタッフ、入社時に個人情報の守秘義務についての誓約書に承諾。日々の業務の中でも漏洩がないよう徹底して管理しています。	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		情報の伝達が適切に行えるよう、例えば視覚支援を行うなど状況に応じた配慮を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	78%	22%	地域の商店を積極的に利用、また地域自慢イベントなど地域を意識した行事を企画している。	今後、必要に応じて企画できるよう検討します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		定期的に見直しを行い、各種マニュアルの整備を行っています。また、計画に基づいた訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		火災、地震、水害など災害の状況に応じた防災訓練を実施し、記録に残しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		契約前に確認を行います。また定期的なモニタリングや日々の打合せの中で変更があった場合は情報共有を行い、確認をしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		現在、該当する児童はいませんが、該当する児童が利用する場合は、全スタッフが対応できるよう指示書に基づく支援を行います。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		安全計画を作成しています。その計画に沿った点検、訓練、研修を実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		作成した安全計画に基づく取り組みを周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		社員・スタッフ会議、日々の打合せの中でその都度報告し、予防も含め再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		毎月のスタッフ会議以外でも外部研修の情報共有も含め、定期的に取り組みを向上できるよう努めています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		現在、該当する児童はいないため計画はありませんが、毎月のスタッフ会議の中で議題に上げ検討を重ねています。	